

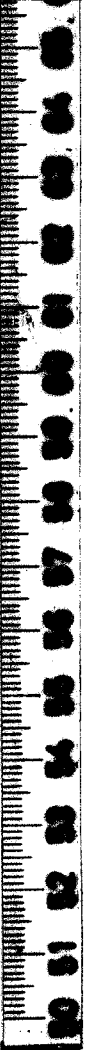


可長嶺
鉄軌評價=就テ

昭7.5.2寫ス

Handwritten notes and a diagram of a railway track with a curve.

2-2





弓長嶺鐵鉦評價ニ就テ

弓長嶺鐵鉦評價ニ就テ最モ重大ナル關係ヲ有
 スル他ノ條件ヲ等シトセバ尙ケ年ニ採掘スル
 鉦量、多寡ナリ、曩ニ滿鐵ニ於テ評價セシ
 タル基礎トシテハ尙ケ年採鉦量ヲ15万吨トセリ
 タリ当方ノ計算ニハ30万吨トセリ、何故ニ
 15万吨ニ制限サレタルヤヲ按ヒ当局者ニ尋ネル
 ニ採鉦ノ設備就中坑夫ノ訓練意、如クナラズ
 弓長嶺採掘開始ノ2年目ニ於テ15万吨ヲ採
 鉦スルニモ非常ノ困難ヲ恐バサルヤカラサルノコトナ
 天レ或ハ怒ラン然レモ今ヤ按ヒニ於テハ採
 鉦ノ業務ヲ開始シテ10有余年ヲ経過セシ
 多年ノ經驗ヲ有セラル、コトナレバ今ヨリシテ坑夫ヲ
 養成セシ漸ク進フテ其ノ採鉦量ヲ増進セラル、
 コトハ多少ノ困難アリトスルモ決シテ実行不可能
 ナリニアラサルニ故ニ今茲ニ事業開始ノ

第2年目ニ於テ 15万吨ヲ採鉦シ

第3年目 5万吨増加

第4年目 5 " "

第5年目 5 " "

即チ第5年目ヨリ年額30万吨^{採鉦}ヲ採鉦開始

2-2



ヨリ 11ヶ年 = 300万円ヲ株権スルモ小假定ニ
山代金ヲ検討セン

$E =$ 山代金

$C =$ 起業費 = 70万円

$A =$ 1ヶ年利益 株権費1屯 ¥220トス

$Y =$ 起業中投資金利率 = 0.08

$d =$ 投資ニ対スル配当率 = 0.1

$R =$ 貯蓄利子 = 0.05

$M =$ 未稼行年限

$N =$ 稼行年限

$$E + C = \frac{A}{(1+Y)^M d} + \frac{R(1+Y)^M}{(1+R)^N - 1}$$

$E_1 =$ 毎年15万円ノ株権ニ11ヶ年間利益

(1713,000円)

$E_2 =$ 毎年5万円ノ株権ニ10年間利益 = 684,000

$E_3 =$ " " 9ヶ年間 " = 597,000

$E_4 =$ " " 8ヶ年間 " = 551,000

$$\text{山代金} = \sum E = E_1 + E_2 + E_3 + E_4 = 3,545,000$$

但シ以上ノ富額、今日未ダ計画半バニモ達セザル

ホーリング作業、現在到達ニタル範囲ニヨリ推定ナル

タル富額ニテ株権床ノ性質ヨリ推論セバ實際ノ

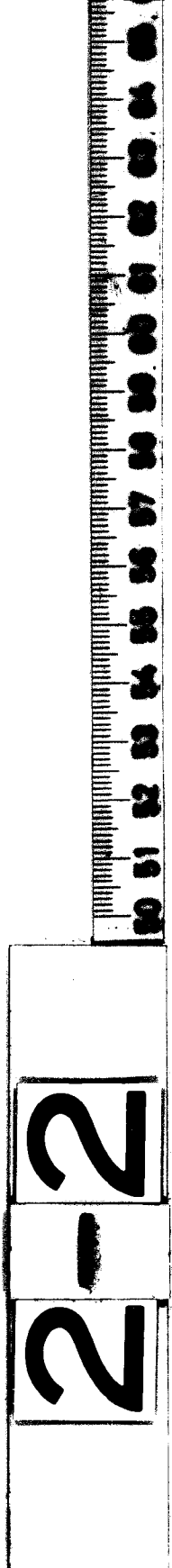
富額ノ更ニ之ノカ2倍3倍ニ達スルモ小云フモ

2-2



甚クシテ過言ニハアラサルナリ。故ニ此ノ算式ノ示セル（Ⅱ）ハ20年、30年トスルニ不可ナク稼行ノ方法次第ニテハ山代金ハ700万ト言フニ1,000万ト言フモ過當ニアラサルナリ況ヤ鉱山評價ノ一般ノ標準ハ其ノ埋藏鉱量ト之レガ経済的採掘ノ難易如何ニ存スルニナレバ埋藏量ノ多寡ヲ度外視シ唯單ニ其ノ現在ノ採掘鉱量ヲ基礎トシテ評價スルニセバ何人モ此ノ不条理ヲ認メサルニナカルベシ。

以上述べし所ノ富鉄ノミニヨリ評價セズニテ此ノ外ノ長嶺ニハ46,000万吨ノ巨大ナル貧鉄ヲ有ス。此ノ貧鉄ヲモ評價セラレサルベカラサル所以ノ最ニ呈出シタル長嶺評價ニ関スル意見書ヲニ於テ陈述シタルカ如クニエテ米口ガ各所ニ巨大豊富ナル資源ヲ有スルニ構ハラス今ヲ去ル15年前ニ於テミネソタノ北部國境無人ノ地ニ於ケル品位僅カニ28%ノ鉄鉱ノ研究ニ着手シ200余万円ノ巨資ヲ投シテ試験工場ヲ設置シ遂ニ之ヲ有利ニ処置シ得ルノ方法ヲ発見シ現在知ラレタル各鉱床ノ採掘スル日ニ備ヘタリ。又頃者聞ク所ニヨリ





目下独逸 = 於テハ 經濟復興ノ為メ 開發
 セゾレツ、アル炭坑ハ 堅坑ノ深サ 1,000米突
 以上ノモ、多ク其ノ採掘年限ハ 大凡 100年
 ヲ以テ標準トナシ、其ノ遠大ノ計、實ニ羨望
 ノ至リニ堪ヘザルナリ。去レバ 滿鐵 = 於テモ
 目下有ス大孤山ノ 富鉄量多クナリト雖モ
 之レニ加フルニ 弓長嶺 約 6,000万屯ノ 富鉄ヲ
 獲得シ以テ他日ノ 製鉄計畫自由ナル擴張
 ト永年ノ稼行ニ備フルコトハ 之亦有意義ナル
 計畫ニシテ 之ガ為メ 利率利加ニ於ケル
 試験工場ニ 投スル程度ノ 費用ヲ支出スルモ
 敢テ徒爾トナサルニ 不信ス

今茲ニハ 富鉄 = 對シテハ 1屯 僅カ 5厘
 ノ 評價ヲ加フルコトセリ

$$\text{富鉄評價 } 46,000\text{万屯} \times 5\text{厘} = 2,300,000 \text{ 円}$$

富鉄評價 230万 円

富鉄評價 354万 円

合計 584万 円

以上

2-2